

機械器具 68 印象採得又は咬合採得用器具  
歯科用咬合器 10201000  
**サムシステム**

**【形状、構造及び原理】**

本品は、患者の顎顔面の生体構造を忠実に再現する目的で、矢状顎路角、側方顎路角を備えたアルコンタイプの咬合器として、人体の顎運動を模倣し、下顎運動を再現する半調節性歯科用咬合器である。

外観写真： 商品番号 ART300



**【保管方法及び有効期間等】**

- ・高温多湿を避けて保管すること。
- ・気圧、湿度、埃、塩分・イオウ分等を含んだ空気等により悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・傾斜のない場所に保管し、振動、衝撃を与えないこと。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】\*\***

製造販売業者：株式会社 JM Ortho  
住所：東京都千代田区神田駿河台 2-2  
御茶ノ水杏雲ビル 14F  
電話番号：03-5281-4711  
FAX 番号：03-5281-4716  
製造業者：SAM Präzisionstechnik GmbH（ドイツ）

**【使用目的又は効果】**

歯科において、口腔外で患者の咬合及び顎運動を再現する。

**【使用方法等】**

使用前に添付の取扱説明書をよく読むこと。

1. バイトワックス、フェイスボウ及びバイトフォークを用いて、患者の咬合を採得する。
2. 上記 1. で採得したフェイスボウ及びバイトフォークと咬合器の上顎模型弓とを組み合わせる。
3. 上記 2. で設置されたバイトフォーク上に、患者の上顎模型を位置づけ、上顎模型弓のマウンティングプレートへ固着する。
4. 上記 1. で咬合を採得したワックスバイトを介して、下顎模型を上顎模型に対して位置づけ、下顎模型弓のマウンティングプレートに固着する。
5. 各ロックスクリューの調節、上顎模型弓の開閉及び滑走により、患者の顎運動を咬合器上に再現する。

**【使用上の注意】**

1. 使用注意
  - ・ASP・MPS・MSF 関連商品の中には強力な磁石を使用する商品がある。これらの磁石を心臓ペースメーカー装着者や磁気媒体等に近付けないこと。
2. 重要な基本的注意
  - ・使用前に取扱説明書を必ず読むこと。
  - ・本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
  - ・使用目的欄に記載されている目的以外には使用しないこと。
  - ・万が一、異常があった場合は使用を中止し、弊社までご連絡ください。
  - ・本品を改造しないこと。
  - ・使用後は十分に清掃を行うこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。